



森とおる NEWS

森とおる 東京都豊島区上池袋 3-46-2
事務所発行 東京都豊島区南大塚 1-19-3

自宅 〒170-0005 東京都豊島区南大塚 2-6-12 TEL 03(6912)0135

池内さおり 前衆議院議員が全力 新型コロナ対策・消費税5%減税を求め行動



3月19日、上池袋で宣伝する池内さおり前衆議院議員（右）

池内さおり前衆議院議員は新型コロナの問題で、病院や学校、飲食店など関係者を訪問し、切実な現場の声を聞き、国政に届ける役割を強めていきます。また消費税を5%に引き上げる日本共産党の緊急経済提言を街頭から訴えるなど積極的に行動しています。

上池袋の街頭宣伝では、家族づれで賑わう公園の前で自転車をとめて訴えに耳をかたむける人や興味津々の子どもたち。明治通りでは池内氏をカメラに収める若者。マンション前では「高齢者のために若い池内さんに期待します」と声が寄せられ、手をふつての応援もありました。自宅で池内氏の声を聞いた女性が半袖姿でかけよってきて「必ず国会に行つて、私たちの願いを実現してほしい」と激励されました。

消費税は5%に

新型コロナウィルスの感染拡大が世界と日本の経済を大きく悪化させる中、国民生活を守る緊急対策とともに、経済危機を打開する対策が強く求められています。中でも最も有効な手立としては消費税の5%への減税です。安倍政権が国民の声を無視して強行した増税の道理のなさが、新型コロナウィルスの感染拡大による経済悪化によって間違っていたことが浮き彫りになりました。

街頭宣伝では、新型コロナ問題をめぐって、日本共産党は国会で具体的、建設的提案で政府を動かしている」と訴えました。「全国一律休校」に伴う休業補償問題で雇用調整助成金の拡充を求め、対象外とされているフリーランスも含めた補償を提案し実現したこと。児童保育の補助金の増額を実現したこと。一律休校についても政府に「設置者(自治体)の判断を尊重する」と事実上撤回させる答弁を



住民と対話する池内氏（中央）

切実な現場の声を 国政に届ける

池内氏は積極的に訪問活動を行っています。休校中の小学校を現地調査し、校長から「受け入れている児童の感染防止に配慮している」と報告されました。

「売上げが激減し廃業の危機が迫っている」と肩を落とす居酒屋の店主。

病院院長からは「医療物資が不足している。スタッフの不安が広がっている」と訴えがありました。

池内氏は「安倍政権による対策費は諸外国と比べても不十分。みなさんの声を国政に届けて全力で取り組みます」と約束しました。